

2025年6月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社ぼすとめいとホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 308A URL [https:// www.postmate-hd.jp](https://www.postmate-hd.jp)
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 鈴木 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 栗原 福子 TEL 086(221)1105
 中間発行者情報提出予定日 2025年3月28日 配当支払開始予定日 —
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期中間期の連結業績(2024年7月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	632	—	5	—	6	—	31	—
2024年6月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 中間包括利益 2025年6月期中間期 31百万円(—%) 2024年6月期中間期 —百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
2025年6月期中間期	円 銭 131.48	円 銭 —
2024年6月期中間期	—	—

(注) 1. 2024年6月期中間期においては、中間連結財務諸表を作成していないため、2024年6月期中間期の数値及び対前年中間期増減率並びに2025年6月期中間期の対前年中間期増減率を記載しておりません。
 2. 2025年6月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年6月期中間期	百万円 797	百万円 59	% 7.4
2024年6月期	802	27	3.5

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 59百万円 2024年6月期 27百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物の 中間期末残高
2025年6月期中間期	百万円 17	百万円 △3	百万円 △22	百万円 145
2024年6月期中間期	—	—	—	—

(注) 2024年6月期中間期においては、中間連結財務諸表を作成していないため、2024年6月期中間期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
2024年6月期	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2025年6月期	0.00	—	—
2025年6月期(予想)	—	—	—

(注) 2025年6月期の配当に関しては未定です。

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,329	0.1	16	△46.2	19	△67.7	24	18.1	102.8

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② 以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年6月期中間期	236,568株	2024年6月期	236,568株
2025年6月期中間期	—	2024年6月期	—
2025年6月期中間期	236,568株	2024年6月期中間期	—

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書.....	6
(中間連結損益計算書)	6
(中間連結包括利益計算書)	7
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復が見られましたが、原材料価格の高騰や天候の不順による物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、岡山市の放課後児童クラブに係る待機児童数が400名超になっていることから、市では新たな整備及び運営の補助金を設けました。そのような取り組みを受けて、当社グループは、保育事業におきまして、放課後児童クラブ(民設、補助金あり)3施設を新設いたしました。

また、保育園の運営では、課題である園児の充足率を高める為、「ヘルプ手当」「異動手当」の新設と「短時間勤務規程」の見直しを通して、社員が働きやすい環境を整備しました。この施策により、機動的な保育士配置が可能となり、収益向上の一助となりました。

上記の結果、当中間連結会計期間(2024年7月~2024年12月)の売上高は632,197千円、営業利益は5,073千円、経常利益は6,467千円、親会社株主に帰属する中間純利益は31,105千円となりました。

セグメント別の経営成績については、以下のとおりです。

<保育事業>

当社グループの基幹事業である保育事業については、園児の充足率が高まり、きめ細かい経費コントロールにより売上高は548,012千円となり、セグメント利益(営業利益)は8,317千円となりました。

<ビルメンテナンス事業>

ビルメンテナンス事業については、主力であるハウスメーカーの受注は回復基調であるものの、売上高は79,429千円となり、セグメント損失(営業損失)は△3,029千円となりました。

<コンサルティング等事業>

コンサルティング等事業については、新規事業の育成段階であることもあり、売上高は4,755千円となり、セグメント利益(営業利益)は418千円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5,529千円減少し、797,268千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ20,576千円減少し、223,347千円となりました。これは主に未収消費税が2,911千円増加し、現金及び預金残高が8,789千円、完成工事未収入金14,936千円減少したことによるものであります。固定資産の残高につきましては、前連結会計年度末に比べ15,047千円増加の573,921千円となりました。これは主に新規に開設した施設の固定資産取得により有形固定資産が15,656千円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当中間連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ36,635千円減少し、738,167千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ12,136千円増加し、302,042千円となりました。これは主に短期借入金29,000千円、未払法人税等が5,032千円増加し、賞与引当金が8,645千円、未払消費税等が12,114千円、買掛金が5,854千円減少したことなどによるものであります。固定負債の残高につきましては、前連結会計年度末に比べ48,771千円減少の436,124千円となりました。これは主に、長期借入金の返済により長期借入金残高が48,886千円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ31,105千円増加の59,101千円です。これは親会社株主に帰属する中間純利益が31,105千円であったことによるものです。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は145,086千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により、17,119千円の収入となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益38,921千円、減価償却費17,676千円、売上債権の減少額14,149千円、のれん償却額3,062千円であり、支出の主な内訳は、補助金収入32,454千円、未払消費税等の減少額15,026千円、賞与引当金の減少額8,645千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により、3,416千円の支出となりました。収入の主な内訳は、補助金の受取額32,454千円、保険積立金の積立解約による収入347千円であり、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出32,654千円、敷金差入による支出2,139千円、保険積立金の積立による支出1,286千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により、22,492千円の支出となりました。収入の内訳は、短期借入金の純増減額29,000千円であり、支出の内訳は、長期借入金の返済による支出51,492千円であります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年11月28日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	153,876	145,086
売掛金	39,083	39,870
完成工事未収入金	17,367	2,430
未成工事支出金	2,803	702
原材料及び貯蔵品	2,881	2,643
その他	27,950	32,615
貸倒引当金	△37	△2
流動資産合計	243,924	223,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	417,180	430,061
土地	47,359	47,359
その他(純額)	28,469	31,244
有形固定資産合計	493,009	508,666
無形固定資産		
ソフトウェア	3,737	3,925
のれん	14,803	11,740
無形固定資産合計	18,540	15,665
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,881	2,881
その他	44,441	46,706
投資その他の資産合計	47,323	49,588
固定資産合計	558,874	573,921
資産合計	802,798	797,268

株式会社ぼすとめいとホールディングス (308A)
 2025年6月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)
 (単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,453	7,599
短期借入金	—	29,000
1年以内返済予定長期借入金	101,363	98,757
未払法人税等	2,751	7,784
契約負債	23,699	15,711
賞与引当金	26,345	17,700
その他	122,292	125,489
流動負債合計	289,906	302,042
固定負債		
長期借入金	430,739	381,852
資産除去債務	48,879	50,212
その他	5,278	4,060
固定負債合計	484,896	436,124
負債合計	774,802	738,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,500	47,500
資本剰余金	75,296	75,296
利益剰余金	△94,800	△63,695
株主資本合計	27,995	59,101
純資産合計	27,995	59,101
負債純資産合計	802,798	797,268

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)	
当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	
売上高	632,197
売上原価	392,068
売上総利益	240,128
販売費及び一般管理費	235,055
営業利益	5,073
営業外収益	
助成金収入	1,732
雑収入	3,308
その他	25
営業外収益合計	5,067
営業外費用	
支払利息	3,673
営業外費用合計	3,673
経常利益	6,467
特別利益	
補助金収入	32,454
特別利益合計	32,454
税金等調整前中間純利益	38,921
法人税等	7,815
中間純利益	31,105
親会社株主に帰属する中間純利益	31,105

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益	31,105
中間包括利益	31,105
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	31,105

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計額
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	47,500	75,296	△94,800	27,995	27,995
当中間期変動額					
親会社株主に帰属する 中間純利益			31,105	31,105	31,105
当中間期変動額合計			31,105	31,105	31,105
当中間期末残高	47,500	75,296	△63,695	59,101	59,101

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	38,921
減価償却費	17,676
のれん償却額	3,062
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,645
受取利息及び受取配当金	△25
支払利息	3,673
補助金収入	△32,454
売上債権の増減額 (△は増加)	14,149
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,338
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,854
その他	△10,624
小計	22,217
利息及び配当金の受取額	25
利息の支払額	△3,711
法人税等の支払額	△1,411
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△32,654
無形固定資産の取得による支出	△432
敷金差入による支出	△2,139
敷金返還による収入	295
保険積立金の積立による支出	△1,286
保険積立金の積立解約による収入	347
補助金の受取額	32,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	29,000
長期借入金の返済による支出	△51,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,492
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,789
現金及び現金同等物の期首残高	153,876
現金及び現金同等物の中間期末残高	145,086

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用(法人税等)の算定方法)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該実効税率を乗じて計算する簡便的な方法を採用しております。

(セグメント情報の注記)

当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 2	中間連結損 益計算書 計上額
	保育事業	ビルメンテ ナンス事業	コンサルティ ング等事業			
売上高						
顧客の契約から 生じる収益	548,012	79,429	4,755	632,197	—	632,197
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	548,012	79,429	4,755	632,197	—	632,197
セグメント間の内部売 上高	12,651	3,665	9,750	26,066	△26,066	—
計	560,663	83,094	14,505	658,263	△26,066	632,197
セグメント利益又は損失 (△)	8,317	△3,029	418	5,706	△632	5,073
セグメント資産	726,035	60,061	53,300	839,397	△42,129	797,268
その他の項目						
減価償却費	16,393	500	1,283	18,177	△501	17,676
のれん償却額	—	1,343	1,719	3,062	—	3,062
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	32,654	—	—	32,654	432	33,087

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間投資取引消去及び全社費用の金額が含まれております。

全社費用は主に販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去及び全社資産の金額10,533千円が含まれており
ます。全社資産は、主に、(株)ぼすとめいとホールディングスの資産であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。